

庁議記録

日 時 令和元年12月18日（水）

15:15～15:30

場 所 テレビ会議室

【土屋副知事】

ただいまから、庁議を開催いたします。

早速議事に入ります。まず、来年度の政策検討について、3件続けてご説明いただきます。

はじめに、令和2年度政策検討の基本方針（案）について、総合政策部長からお願いします。

【総合政策部長】

それでは「令和2年度の政策検討の基本方針（案）」について、資料1の概要版でご説明申し上げます。

来年度は、鈴木知事の初めての本格的な予算編成となります。本日、ご説明申し上げます方針につきましては、来年度の当初予算に向けた政策検討の基本的考え方などを示すものでございます。

まず上段の部分、「1 基本的考え方」ですが、知事の考えを踏まえ、ポイントとして大きく四つの項目を取り上げております。

一つ目の「(1)」でありますけれども、本道の今後10年間を見通した場合、来年度が本道の発展を加速する上で、非常に重要な年になります。

別途お配りしております、資料1-2「2030年に向けた北海道のロードマップ」をご覧ください。これまで鈴木知事が様々な場面で、このペーパーをもとに紹介をされていますが、現時点で2030年の道内招致を目指す冬季オリンピック・パラリンピック、そして北海道新幹線の札幌延伸までの間に、様々なイベントがご覧の通り予定されています。とりわけ来年度については、ウポポイの開設、東京2020オリンピックのマラソン等の札幌開催などが続く、非常に重要な1年となります。こうした大きな流れの中で、来年度の重要性、位置付けを全庁的に共有する、確認することをこの基本方針の出発点としてございます。

次に、資料1に戻っていただき、「(2)」ですが、こうしたイベントをチャンスとして活用し、本道の力を最大限引き出す、新たな段階へ押し上げていくという考え方を「(2)」で示しています。

その下の「(3)」でございますけれども、本道が直面する様々な課題への対応として、民間の方々の知恵やノウハウを結集しながら、本庁と振興局が連携して、地域と一体となった取組を進めることが必要であること。その上で、本道は、全国が抱える共通の課題の解決に向けたフロントランナーとなることを目指すといった方向性を位置付けています。

最後の「(4)」では、こうした考えのもとに、鈴木知事が掲げる「北海道・新時代」の実現に向けて、全庁一丸となって、新たな第一歩を踏み出す政策を実施するという、全庁としての考え方を示しています。

次に、中段の「2 重点的に検討する政策と方向性」であります。9月の庁議で決定した、「令和2年度に向けた政策検討の考え方」や、知事からの指示事項、更には、知事と各部局との政策ディスカッションの内容も踏まえて、重点項目として検討を進める14の政策項目を位置付けています。

具体的には二つの大きな柱で整理をしていますが、一つ目は、「(1) 北海道の新たなステージを切り拓く」として、「東京2020オリンピックのマラソン・競歩・サッカー競技の札幌開催を契機とする北海道の活性化」など、ロードマップに示された重要イベントと関連性が高い、5つの政策を位置付けています。

二つ目は、「(2) 北海道の活力を確かなものにする」でございます。ここにつきましては、「①」にございますが「Society5.0時代に向けた未来技術による地域・産業の振興」などの6項目を「地域・産業」という観点から位置付けております。

また、「すべての子どもたちが幸せに育つことができる社会の実現」などの3項目を「人材」という観点から位置付けています。

最後に、下段の、「3 政策検討のあり方」についてですが、まず、「(1) 関係部局の連携強化等」については、関係部局の連携の下、政策のパッケージとして検討を進めることなどについて記載しています。

そして、「官民連携の取組の強化」については、企業版ふるさと納税やクラウドファンディングをはじめ民間資金の活用を最大限検討することなどを位置付けています。この2点が、来年度の重点政策の大事なポイントになるかと思えます。

説明は以上ですが、この方針の決定後、予算編成方針の説明もごさいますけれども、予算編成作業が本格化いたします。各部局の皆様におかれましては、政策の内容をさらに磨き上げるなど、さらに検討を進めていただきたいと思います。来年2月下旬開会予定の第1回定例会に向け、皆様の引き続きのご協力をお願いいたします。私からは以上でございませう。

【土屋副知事】

次に、令和2年度予算編成方針（案）について、財政局長から説明をお願いします。

【財政局長】

本日、総務部長が不在でございませうので、私の方から資料2-1に基づきまして、「令和2年度予算編成方針（案）」の概要につきまして説明申し上げます。

道財政は来年度以降も依然として収支不足が生じる見通しにあること、それから実質公債費比率の改善ですとか、財政調整基金の確保といった財政課題も残されていることなども踏まえまして、来年度の予算につきましては、基本的な考え方にごさいますとおり、引き続き『「行財政運営方針」後半期の取組』に沿って、施策・事務事業の取捨選択ですとか、スクラップアンドビルドを徹底し、歳出の削減・効率化を図ること、それから、ただいま総合政策部長からもご説明ごさいました「令和2年度政策検討の基本方針」に基づく、優先度の高い施策に、限りある行財政資源を効果的・効率的に配分することとごさいませう。

本年度の主な変更点といたしましては、新たな取組といたしまして、二つのインセンティブの仕組みを導入することとごさいませう。

一つ目が、既存事業につきまして積極的な事業の組み替えですとか、スクラップアンドビルドなどを促進するため、目標額を上回る削減を行った場合、要求枠の上乗せを行うものが一つ目とごさいませう。

それから二つ目が、施策効果を高める観点から、民間等の外部資金を活用した事業構築を促進するということで、新たに獲得した、あるいはする見込みの寄附額に応じて、各部局配分額の上乗せを行うというものとごさいませう。各部局におかれましては既存事業の見直しですとか、外部資金の活用につきまして、積極的な検討をお願いしたいと考えております。

その他、定期的な見直しといたしまして、4年ごとの使用料・手数料の一斉改定も行うこととごさいませう。予算編成方針とあわせまして、その改定方針を別途通知させていただきますので、よろしく願いを申し上げます。

最後に、編成日程でございませうが、本日、庁議終了後、各部局に編成方針等を通知いたしまして、2月上旬の知事査定まで予算編成作業を進めていくこととなります。

各部局におかれましては、すでに様々な作業を行っていただいていると思えますけれども、今後、作業が本格化してまいりますので、引き続き限られた期間内で事務が円滑に進むよう、ご協力を心からお願いを申し上げます。

なお資料2-2は編成方針の本体でございませう。後ほどご覧いただきたいと思えます。私からの説明は以上でございませう。

【土屋副知事】

次に振興局からの政策提案について、地域振興監から説明をお願いします。

【地域振興監】

地域振興監です。本日の庁議は地域づくり推進本部を兼ねての開催ということですので、私の方から本年度の振興局からの政策提案についてご報告をいたします。

今年度の政策提案は、11月28日と12月4日に開催をし、例年実施しております「本庁施策へ反映すべき事項の提案・要望」に加えまして、新たに「振興局が重点的に展開すべき具体の事業」との二本立てで各振興局長から知事へプレゼンを実施していただいたところです。

振興局からの「主な提案・要望項目」につきましては、お配りの資料3に一覧として取りまとめておりますが、提案項目はウポポイの開設や、世界文化遺産登録関係のほか、子育て環境の整備、一次産業の振興、地域の産業を支える人材の育成や外国人材の受け入れ環境整備等々、いずれも地方創生の取組に関連するものでございます。

すでに事務的には、各部に依頼をさせていただいておりますが、資料右側の「所管部」欄に、振興局が具体の対応を求めている部を記載しておりますので、関係部局におかれましては、検討、対応をお願いいたします。

また、各振興局長が知事にプレゼンを行いました、「提案・要望」及び「来年度重点的に展開する事業」につきまして、参考として資料を添付しておりますので、後ほどご覧いただきたいと思います。

振興局からの政策提案に係る説明は以上です。

【土屋副知事】

以上3件について何かご発言ございますか。振興局の皆さんありますか。

ではこの件について知事からお願いいたします。

【知事】

本日、来年度の政策検討に向けまして、基本方針、そして予算編成方針などについてご説明があったところです。

私としては、来年度の予算、これが初めての本格的な予算編成になるわけであります。これまで様々な分野の団体の皆様、そして各部、振興局の皆さんと意見交換を重ね、課題やニーズの共有や、方向性の確認などを行いながら、この度の方針を取りまとめたところであります。

極めて短い時間の中で、資料の作成など、各振興局、そして各部の皆さんにご協力いただいたこと、このことに感謝申し上げたいと思います。

今後、具体的な事業の検討に向けて、本格的な作業をスタートする段階でございます。

特に、先ほど話ございましたけども、来年度、道内7空港の一括民間委託、そしてウポポイ、さらには、東京オリンピック・パラリンピックといった、北海道の発展に向けた大変重要な1年になるということについては皆さん同じ思いだと思っております。

職員一人、一人が、地域にとって何が重要なのかという視点をしっかり持っていただき、課題にしっかりと向き合って、地域と一体となって取組を進めていくことが重要です。

幹部の皆さんにおかれては、今後の事業の本格的な検討にあたって、職員と認識をしっかりと共有していただいて、さらには、部局間の連携を十分に図りながら、より実効性の高い政策の構築に向けまして、指導力を発揮していただきたい。そのように思っております。

限られた時間での作業になりますけれども、ぜひ、その重要な年に向けて、全庁一丸になって取り組んでいきたいと思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。私からは以上です。

【土屋副知事】

以上で庁議を終了します。お疲れ様でした。